

南北朝期九州地方権力の研究

山本, 隆一郎

<https://hdl.handle.net/2324/4474901>

出版情報：九州大学, 2020, 博士（文学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（3）

氏 名 : 山本 隆一郎

論 文 名 : 南北朝期九州地方権力の研究

区 分 : 甲

論 文 内 容 の 要 旨

本研究は、南北朝期の九州地方権力の多様な実態を分析することを通して、南北朝内乱の九州地域に与えた影響とその政治的な位置づけ、室町期に向けて内乱状態が収束していく過程を明らかにすることを目的とした。

第一章では南北朝期の九州全体の政治情勢を概観した。征西将軍府・足利直冬政権など室町幕府に敵対した勢力の視点を重視し、南北朝期九州の政治史を通史的に検討した。足利氏にとっていわば揺籃の地である一方で南朝勢力が根強いという、相反する九州の特質と、観応の擾乱によって引き起こされた支持勢力の合従連衡が、南北朝期九州の特性であることを示した。

第二章・第三章では九州の南朝勢力について、軍事面を中心に論じた。第二章では、先行研究の中で「公家大将」と定義された貴族階級の地方統括者兼軍事指揮者と、南朝から派遣された皇族について分析を加えている。九州には征西将軍宮懐良親王の派遣以前から皇族が派遣されており、南部九州において在地勢力を糾合したこと、その権力は公家大将たち、例えば三条泰季らによって補完されることによって成立していたことを明らかにした。また、三条泰季は九州を統括する征西将軍府に対しても一定の独立性を保持した。このような南朝の地方権力の在り方は、南北朝の地方情勢を分析するにあたって無視できないものである。三章では、九州南朝の軍事制度を論じるため、軍忠状の古文書的分析、特に証判を通してその機能と構造を検討した。恩賞請求における公家大将の重要性や、室町幕府の守護達が南朝に降る中でその軍事構造が南朝軍制にも取り入れられる経緯等を論じた。特に公家大将の証判位置は明確に武士と区分できることを明らかにした。

第四・五章では足利直冬政権について、総合的な分析を目指した。第四章では、足利直冬が九州で急速に勢力を拡大した要因を探るべく、その機構面や人事の実態を追求した。特に軍事的な機構面のみならず、足利直冬政権の奉行人層や組織構造、訴訟の経過と審理の過程を明らかにした。また、直冬の支持勢力が如何なる動機によりその旗下に参じ、離反したのかを解明することで、九州の在地領主たちにとっての観応擾乱の意味を問い直した。第五章では、足利直冬政権の運営上極めて大きな意味を持った政策と考えられる、当知行安堵と闕所給付について再検討を加えた。直冬政権の恩賞政策はその「空手形的」な性格が注目を集めていたが、そ

の背景には、求心力の確保のみならず敵地の闕所化による新しい所領秩序の構築が目指されており、九州の南北朝内乱の問題の根本にある所領問題の重要性を提起した。この問題は、直冬のみならず九州の中世史における在地状況の把握の中で活発な議論が必要であると認識している。さらに、直冬政権下で刺激された九州の領主たちの所領に対する欲求が、終わることの無い「闕所のサイクル」として内乱の収束の大きな障害になったことも明らかにした。

第六・七章では南北朝後期から室町初期に活躍した肥後菊池氏の当主・菊池武朝について分析を加えた。第六章では、征西将軍府が九州探題・今川了俊を中心とする幕府軍との戦いで劣勢となる中、九州南朝の最大の支持者である菊池氏がどのような動向を示したかを論じた。菊池武朝は父・武政とは異なり、征西将軍府の高官の一人としてその運営に直接参与し、島津氏をはじめとする有力武士への対外交渉を司り、阿蘇氏・牛屎氏・下相良氏などよりも優位であった存在であることを明らかにした。征西府の劣勢は、菊池氏にとってはその政治的地位の上昇を齎したのである。第七章では、近年の今川了俊の探題解任問題の研究深化を前提として、応永年間の菊池武朝の政治的動向を分析した。特に菊池武朝発給・受給の無年号文書を年次比定する中で、菊池武朝が肥後国において再び主導的な立場と守護の実力を取り戻す過程と、それに対処する探題渋川満頼や肥後国の武士達の動向に焦点を当てた。これは、南朝の重要な支持者が如何にして室町幕府の秩序の中に自らを位置付けていくのかを示す、一つの典型的な事例である。

以上、地方権力における軍事的な構造、内乱期の政治権力が行った様々な施策、そして南北朝内乱を生き抜いた政治権力がどのように室町期の新秩序の中に自らを位置付けていったのかを解明した。南北朝期九州における諸政治権力は、相互の施策に影響を与え合いながら活動し、その中で新しく九州地方の政治を再編するような潮流が地域に生み出されていったことを明確にした。